

第 2 期施設溶剤蒸留室での洗浄液の漏洩について

平成 22 年 6 月 17 日に発生しました 2 期施設溶剤蒸留室内の遠心分離機からの洗浄液の漏洩について、発生状況を報告します。なお、原因については、現在調査中であり、究明次第、適切な再発防止措置を講じます。

< 発生状況 >

6 月 17 日午後 10 時 3 分頃、第 2 期施設の 3 階にあります溶剤蒸留室内の溶剤蒸留回収設備において、トランス・コンデンサの PCB 油を抜油した後に内部洗浄した洗浄液中に含まれる浮遊固形物を除去する遠心分離機から、洗浄液が約 80 リットル漏洩しましたが、遠心分離機下に設置してあるセイフティネットのオイルパン(1,820 mm×940 mm)内に溜まり、直ちに回収しました。

これによる PCB 等の施設外への漏洩や作業員への影響はありません。

なお、現在は遠心分離機を停止のうえ原因について調査中です。

経緯は次の通り。

- ・ 6 月 17 日 20:00 溶剤蒸留回収設備のうち溶剤分離塔の運転を開始
 - 20:30 遠心分離機運転開始
 - 22:03 漏洩検知器発報により漏洩覚知
 - 運転員が現場に駆け付け、オイルパン内に溜まった洗浄液を確認し、直ちに漏洩した洗浄液の回収及び洗浄作業を実施
- ・ 6 月 18 日 01:30 洗浄液の回収及びオイルパンの洗浄作業を完了

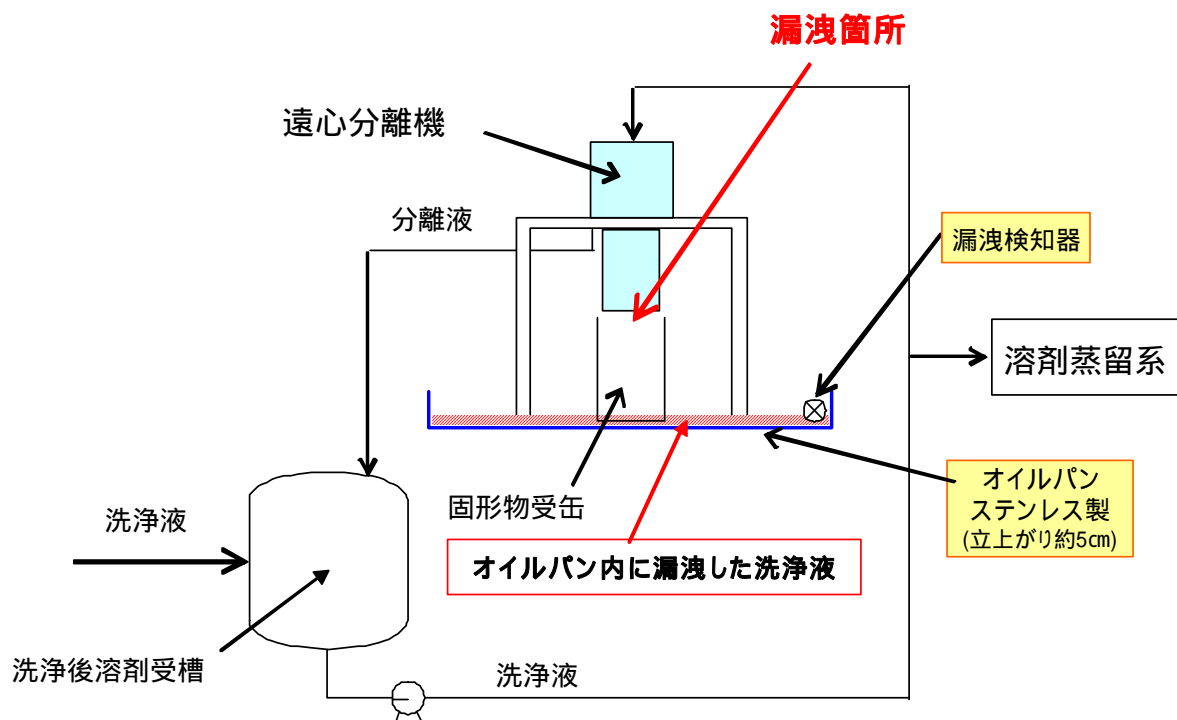


図2 遠心分離機関連フロー概要図

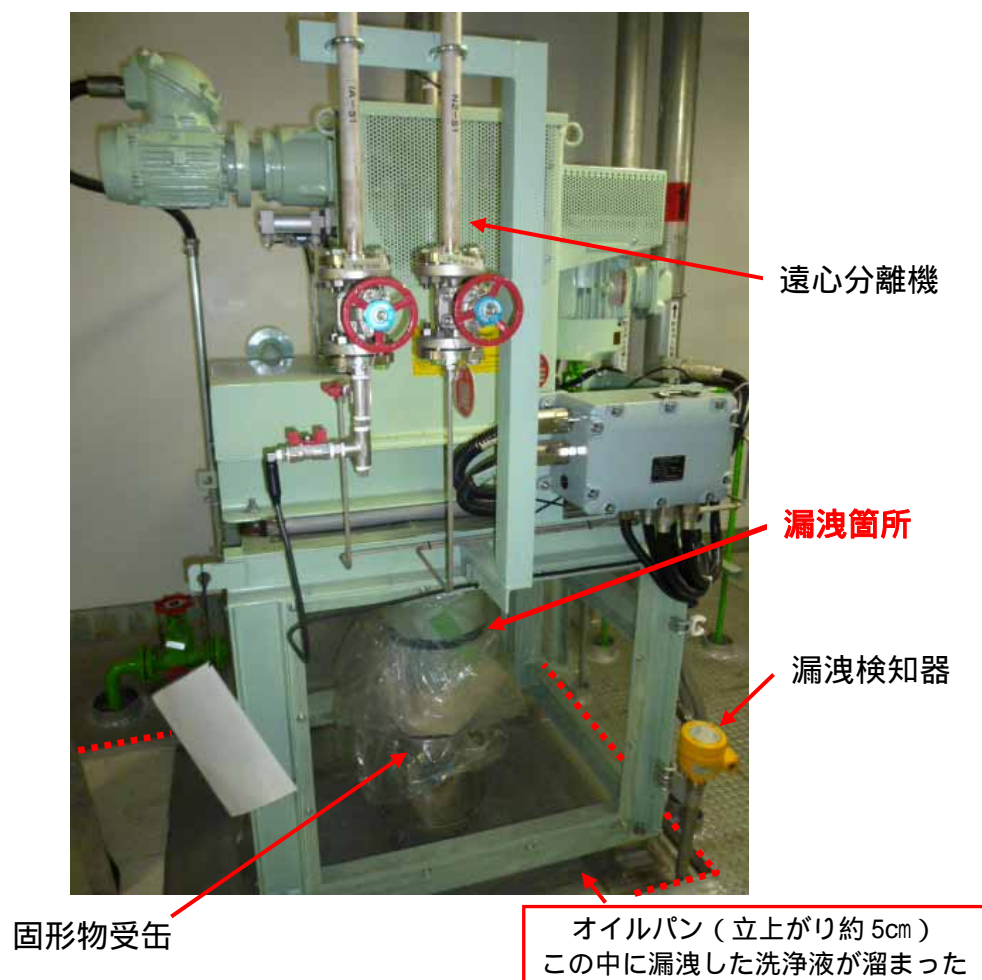


写真 遠心分離機漏れ箇所